



すぎのこ7月増刊号

<http://www.shokei-gakuen.ac.jp/kids/>



第5号

平成30年7月13日
幼保連携型認定こども園
尚綱大学短期大学部
附属こども園

いよいよ1学期もあと1週間と迫りました。今年は、前後に日曜日が入るため、幼児棟での保育は、44日間のお休みになります。保育棟に通う2号のお友達も生活のリズムが変わり、いつもより解放感を味わうことになると思います。子どもたちが自由に使うことのできる時間が増えるこの時期をどう過ごさせるかは、子どもたちの自立心を養うことにもつながります。1学期の終わりという節目に、各ご家庭でこの4か月の子どもの成長を評価し、幼児棟がお休みのこの時期をどう過ごすか、ご家庭で話し合ってください。来週から始まる個人面談は大変お世話になります。個人面談がその一助になるとありがたく存じます。

1学期終業式を迎えるにあたって

この夏に取り組んでみませんか

尚綱こども園
園長 後藤 誠司

幼稚園的な側面と保育園的な側面を併せ持つこども園では、幼児棟での保育はお休みになりますが、逆に保育棟では2号認定の子どもたちが終日生活することになります。この期間を家庭で過ごす子どもも園に通いながら過ごす子どもも、生活する場所こそ違ってきましたが、生活のリズムや環境が変化し、時間をいつもより自由に使うことのできるこの時期をどう過ごすかが、子どもたちへの自立への基盤にもつながると考えます。

園では、各学年の発達段階に合わせながら、「なつのすごしかた」のプリントが出され、この夏にどのようなめあてを立てて過ごすかを子どもたちと話し合ってくださいようお願いしています。

こども園の生活の中では、子どもたちは遊びながら自分なりのめあてを見つけたり、友達とのかかわりの中で何かをやり遂げたりして達成感を感じながら成長しているところです。

この「めあてを立てる」ということと「達成感を味わうために継続的に取り組む」という二つのことをご家庭でも意識しながらこの夏を過ごしていただければと思います。

保護者の皆様と担任が子どもの立てためあてを共有し、静かに応援し続けることができれば素敵だと思います。また、めあてに向けて継続的に取り組むことの素晴らしさを夏の終わりに保護者の皆様と子どもが実感できるといいなと思います。ただ「継続的に」と言いましたが、「断続的」で構いません。

私たちは、何かめあてを立てた時それが達

ち
よ
っ
と
だ
け

ち
よ
っ
と
だ
け
で
い
い
ん
だ
よ
！
前
に
進
む
の
は



成できたか否かで評価しがちですが、それでは挫折感を感じるの方が多くなります。「結局やり通せないのだから目標なんて決めない」というような思いをしたことはありませんか。

大切なことは、めあてに向かって少しでも近づいているという喜びを持って生活することです。「今日の自分は昨日の自分より少し違うよ」とか「明日はきっといい日になるよ」とかそのような明るい気持ちでこの夏の子どもたちの生活を見守っていただきたいと思います。

例えば、「自分から〇〇のお手伝いをする」と決めた時、それを毎日できなかったから残念。と考えるのではなく、「今日できなくても明日はできるといいね」「今週は、3回もできたね」というように考え、夏の終わりに〇〇ちゃんが頑張ってくれたので、お父さん、お母さんはとても助かったんだよ」と振り返りと行動に対する価値づけをしっかりといただくことが子どもの成長につながります。

この前の七夕飾りに子どもたちは様々な願い事を書きました。「願うことは叶えることの第一歩です」

ぜひ、この夏、親子で願いを共有し、実現に近づいていくことの素晴らしさを実感していただければと思います。



スクールバス利用のお願い



スクールバスの利用についてはご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。1学期中に寄せられました課題の解決のために以下の点の確認を今一度、お願いします。

- ①バス停へはなるべく早めにご到着ねがいます。
- ②乗降するバス停の当日変更はできません。
- ③利用している停留所周辺への配慮をお願いします。